



「実りある秋に」

校長 小菅みちる

秋になりました。

秋といえば、「スポーツの秋」です。9月15日（木）には区の連合陸上大会が3年ぶりに開催され、石中からは42名の代表者が参加しました。それぞれが代表としての自覚と責任をもって臨むことができたと思います。また、9月30日（金）には、大田区の特別支援学級連合運動会が実施され、C組の9名が参加しました。他中とは異なり、石中のC組には3年生がいないので1・2年生のみでしたが、徒競走も、ダンスも、リレーも、堂々と取り組んでいました。みなさんもおおいにスポーツに親しんでください。

秋といえば、「学問の秋」です。中間考査が終わってホッとしているところかもしれませんが、勉強はずっと続きます。それに、勉強はテストでよい点数をとるためだけにするものではありませんね。教科に限らず自分で決めた「何か」について努力して学習してみることが大切です。先日、高円宮杯全日本中学校英語弁論大会がありました。本校からも3年生代表1名が出場し、自分の意見を英語で立派にスピーチしました。発表にチャレンジしたことはもちろん、発表に向けて努力したことこそが素晴らしいと私は思っています。

秋といえば、「食欲の秋」です。だんだん涼しくなってきたこともあり、食もすすみます。石川台中の給食はとてもおいしいと評判です。私も毎日楽しみです。この機会に、給食以外でも栄養バランスを考えた食事をとることを大切にしたいものです。また、10月は「早寝早起き朝ごはん月間」です。ほげんだよりや給食献立表の給食だよりを参考にして、自分で朝ごはんを作ってみるのもよいでしょう。

秋といえば、「芸術の秋」です。10月29日（土）は、けやき祭です。けやき祭実行委員会が、本格的に始動をはじめ、スローガンも決まりました。吹奏楽部や演劇部の練習にも熱が入ります。合唱コンクールに向け練習する歌声も聞こえ、ここかしこで文化の香りがしているのをうれしく思います。石中生みんなで芸術の秋を堪能しようではありませんか。もちろん、活動するときには、いつも以上に感染症対策を心がけないといけませんね。

秋といえば「読書の秋」です。現在、生徒や保護者のみなさんに推薦してもらった本を中心に選定委員会で「石中生に読んでもらいたい今年の100冊」を決めています。（集計は図書委員会にも協力してもらいました。ありがとう！）それを「石中100選」として生徒のみなさんに提示し、図書室でコーナーを作る計画です。6月14日の開校記念日にお話したように、本校には 大村はま 先生という素晴らしい国語の先生がいらっしゃいました。自他ともに認める国語教育の専門家です。昭和の頃、大村先生の授業や石川台中生の学習成果を見るために、地方からもたくさんの方々が参観に来られたのです。大村先生の作文指導や読書指導は全国でも特に有名です。（私は国語の教員なので、大村先生の著書を読んで色々勉強しました！）

そのような歴史のある石川台中学校ですから、読書活動は大切にしていきたいと考えています。この秋、石中生は「多読」を目指しましょう。「多読」とはたくさん読むこと。わから

ない言葉は、とばしたっていいのです。やさしい本だっただけかまいません。とにかく「読んでみること」です。いろんな本に触れて、いろんな知識を増やしたり、いろんなことを考えたりして、自分を磨いてください。そのために「石中 100 選」を活用してくれたらうれしいです。

他にもいろいろな「秋といえば…」が思い浮かびます。あなたにとって、実りある秋になりますように…。

保護者のみなさま

石川台中学校推薦図書 100 選にご協力いただき、ありがとうございました。「石中 100 選」は近日中に最終決定し、お知らせする予定です。みなさまも是非、お子様と一緒に「石中 100 選」を楽しんで活用していただけたらと思っています。

新しい先生がいらっしやいました。

1・2年C組に新しい先生が10月1日付けで着任しました。お名前は本多祥吾先生です。本多先生のコメントを掲載します。皆さんどうぞよろしくお願ひいたします。

「10月から着任しました**ほんだ しょうご** **祥吾**」です。教科は技術と保健体育科です。現在は高等学校「情報」の免許を取得しようと勉強をしています。これからどうぞ宜しくお願いいたします。」

石中フェスティバル3年振りの開催

9月10日(土)の午後3年振りに石中フェスティバルが開催されました。今年は地域の小学生や保護者の方をお呼びできず校内発表の形で開催されました。「おもてなし」をテーマに生徒同士ではありますが、「もてなす側」と「もてなされる側」を交代で取り組みました。校長先生のお話、前生徒会長の開会宣言、父母と教師の会会長様のお話をいただき開会式を終え、石フェスを開催しました。生徒は普段部活動の様子はお互いにあまり見られていません。その部活で磨いた姿を学年の友達が見て改めて凄いと生徒同士で敬意を感じている姿も見られました。また、自分がやっていない部活体験ができるため、生徒の皆さんは楽しそうに活動していました。来年は地域の小学生などを「おもてなす」ことを楽しみにしています。石フェスのポスターやイラストは3年生の皆さんが協力して素晴らしい作品を作成してくれました。父母と教師の会からは記念のどら焼きをいただきました。父母と教師の会のご協力誠に有り難うございました。



石フェスポスター・イラストに協力してくれた皆さん

有り難うございました！！



スクエアードストレート生徒は真剣に学びました

9月22日(木)セーフティー教室としてスクエアードストレート方式による体験型自転車交通安全教室を本校校庭にて実施しました。「安全教室を通して交通ルールについて学び、一人一人の意識の向上を目指すことや交通事故スタントを見ながら事故の危険を知るとともに改めて自転車の安全運転に努める」ことを目的に行い、田園調布警察署の方からの講話と自転車の安全な乗り方のレクチャー、そして実演による交通事故のシミュレーションをスタントマンの方に実演いただきました。時速40kmの自動車と自転車の衝突場面を実演していただき、大きな音と自転車の人が飛ばされる場面を見て、生徒はとても事故の衝撃の大きさを体感しながら安全な自転車の乗り方を学ぶことができました。

区陸上競技大会 チーム石中 頑張りました！！

9月15日(木)第75回大田区立中学校陸上競技選手権大会が3年振りに、駒沢オリンピック公園陸上競技場で開催されました。石川台中学校からは42名の生徒が出場しました。3年生13名、2年生17名、1年生12名が男女合わせて合計25種目にエントリーして、大田区内28校で鎬を削りました。チーム石中のチームワークはとても良く、競技も熱く頑張っていました。応援も同様に熱いものがあり、一体感がありました。3年生にとっても初めての区陸で感慨深さもありました。チーム石中の皆さん大変お疲れ様でした。

連合運動会 3年振りの開催 大活躍でした！！

C組担任 馬場 奎太

9月30日（金）区特別支援学級 連合運動会が大田区総合体育館にて3年振りに開催されました。石中は1・2年生9人で力を合わせて競技・演技に臨みました。

C組では連合運動会に向けて1学期から練習を重ねてきました。ソーラン節の練習では踊りだけでなく、最後のフォーメーションや移動も含めて何度も練習をしました。練習の中でなかなか上手いかないこともありましたが、その都度確認をして完成させることができました。

最後のリレーでは、5人はC組の代表であること、また生徒席で観覧する生徒も目一杯応援することを事前に話をして、本番に臨みました。結果は4位となりましたが、終わったあとの生徒たちの表情はととても晴れ晴れとしていました。しっかりとバトンをつなげたこと、そして全力で競技に取り組めたことが、充実感につながったのだと思います。来年は絶対に勝つぞ、と気合を入れて締めくくることができました。

また、競技の内容のほかにも、入退場の仕方や自分の出番の移動にも力を入れて練習しました。当日は、練習通りに自分で考えて列を作ったり、並んだり、競技に臨んだりすることができました。今年は連合運動会を3年振りに開催できたことももちろんのことながら、保護者の皆さまにも生徒たちの一生懸命に取り組む姿を見ていただくことができ、本当に良かったです。ご参観ありがとうございました。

今年練習してきたこと、本番で経験したことを生かして、来年1年生から3年生までそろったC組で、連合運動会に取り組めればと思います。

◎表彰の記録◎

◆第75回区民スポーツ大会（夏季）水泳競技大会 9月4日

中学女子 50m平泳ぎ	第2位	41"53
中学女子 50m自由形	第2位	31"32
中学女子 50mバタフライ	第3位	35"87



◆第75回大田区中学校陸上競技選手権大会 9月15日

共通男子 200m	第6位	26"13
共通男子 800m	第7位	2'17"41
1・2年男子走幅跳	第5位	5m12
共通男子 4×100mR	第4位	47"59
共通女子 1500m	第2位	5'32"33
1年女子 100m	第8位	14"61
1年女子 4×100m	第6位	58"38
共通女子 4×100m	第6位	57"51



英語弁論大会 素晴らしい発表でした！！

令和4年10月1日（土）高円宮杯全日本中学校英語弁論大会が港区赤坂区民ホールにて開催されました。本校代表として、3年生が参加しました。発表のタイトルは、

「A Future Where We Can Achieve Our Dreams」です。猛特訓した美しい発音と表現力で素晴らしいスピーチを披露してくれました。弁論の内容を掲載します。

A Future Where We Can Achieve Our Dreams

Today, we have so many serious issues in the world. In particular, environmental problems are addressed nationwide that we must sort out. However, I think there are more challenges than that. It is the realization of a society where students can achieve their dreams.

Do you know what the situation is for Japanese students now? My brother is a college student and is looking for a job now, but the recruitment conditions are strict and the number of job offers are decreasing, which is a very difficult situation. Also, due to the influence of Corona, many students are quitting from university.

I myself am currently studying for the high school exam, but in a conversation with a friend, I heard a voice saying, “My sister entered a private high school, so I have to go to a metropolitan high school.” I regret the reality that I have no free choice of where I want to go, or of what I can do in my future because of the cost of education.

This situation is not only a problem with money, but also with the family environment.

Recent news has covered the existence of “Young carers.” They are not able to go to school because they have to care for their parents’ illness or take care of their young siblings. How is it that children are in a position to protect even though they are protected by society?

In July of this year, there was an election of the members of the House of Councilors and many of the parties were talking about high prices and the constitution. However, unless government creates a society with hope for the future, a prosperous society will not be realized for students.

It is important to prepare a learning environment, but today’s students need support for tuition and educational expenses so that everyone can receive an education that allows them to go the way they want to go.

It is also necessary for the national and prefectural governments to establish and acquire institutions and human resources to support families who have difficulty attending school.

Even if you have ability and talent, the future will be dark if there is no entrance to that path. I sincerely hope that the society in which I will live has a bright future in which we students are able to live and shine.

The realization of this future requires the power of an adults’ society. For that purpose, and please help our students’ society!

Thank you for your valuable time.